

もう一度はじめる 英文法ドリル

Izumi Irie 入江泉=著



文法の基礎を復習したい方、
文法問題をとことん解いてみたい方に!

語研

Preface

はじめに

中学・高校英語教材を10年以上作り続けてきて、かねてより、大人のための文法問題集を書きたいと考えていました。本書は、特に英文法を復習したい、英文法の問題をとことん解きたいという方のために作りました。

学生のとき以来初めて英語を学ぼうという方、あるいは会社などで英語習得の必要に迫られている方には、会話で実践から入る方と、文法の復習から入る理論的な方、大きく分けて2種類のタイプがあると思います。本書は、文法の復習をしたい意欲満々の方に最適です。また、試験対策として文法力を確認または勉強したいという方にも考慮して、TOEICや英検など資格試験も意識して作成してあります。

また、学生の教材と違う部分として、大人の会話、親子の会話、会社内で使われる簡単なビジネス表現や語彙を使っていますので、日常に役立てられると思います。

問題は1問1答で、解説はすべての問題に簡潔な形でつけてあります。また、本書は持ち運びしやすい小さなサイズとなっており、通勤途中などに、読書感覚で解いていただけるよう、問題と解答解説は見開き完結にしています。復習の意味で、間違いやすい問題には似た問題を繰り返し取り入れたり、問題パターンにも工夫を凝らしてあります。この本がみなさまの英語上達に一役買うことができれば大変光栄です。

この本を執筆及び編集するにあたり、IWCスタッフのみなさまには大変お世話になりました。そして何より執筆の機会を与えてくださった(株)語研編集部の中野一郎氏に、この場をお借りして心よりお礼申し上げます。

2007年6月

入江 泉

Contents

目次

はじめに.....	3
本書の特徴と使い方.....	6

□ 第1章

レベル1..... 10

空所補充問題 (4 択) ～センテンスレベル	10	空所補充問題 ～センテンスレベル	54
空所補充問題 (4 択) ～ミニ対話レベル	22	☕ Tea たいむ 補語ってなに?	60
☕ Tea たいむ 目的語ってなに?	30	並べかえ問題 (1)	62
語形変化問題 ～センテンスレベル	32	並べかえ問題 (2)	68
空所補充問題 (語群選択)	38	並べかえ問題 (3)	72
空所補充問題 ～ミニ対話レベル	44	並べかえ問題 (4)	76
		間違いさがし問題	80

単元徹底ドリル (1).... 92

時制を極めよう! (1)	92	動名詞を極めよう! (1)	102
時制を極めよう! (2)	94	比較を極めよう! (1)	104
疑問文を極めよう!	96	接続詞を極めよう! (1)	106
助動詞を極めよう! (1)	98	関係詞を極めよう! (1)	108
不定詞を極めよう! (1)	100		

レベル2..... 112

空所補充問題 (4 択) ～センテンスレベル	112	☕Teaたいむ 副詞って重要?	168
☕Teaたいむ まぎらわしい接続詞!	132	空所補充問題～センテンスレベル	170
空所補充問題 (4 択) ～ミニ対話レベル	134	並べかえ問題 (1)	178
語形変化問題 ～センテンスレベル	144	並べかえ問題 (2)	184
語形変化問題～ミニ対話レベル	152	☕Teaたいむ 節ってなに?	192
空所補充問題～ミニ対話レベル	156	並べかえ問題 (3)	194
		語群選択問題	202
		間違いさがし問題	212

単元徹底ドリル (2)....228

時制を極めよう! (3)	228	分詞を極めよう!	240
助動詞を極めよう! (2)	230	関係詞を極めよう! (2)	242
不定詞・動名詞を極めよう! (2)	232	関係詞を極めよう! (3)	244
受け身を極めよう!	234	仮定法を極めよう!	246
比較を極めよう! (2)	236	形容詞・副詞・代名詞を極めよう!	
接続詞を極めよう! (2)	238		248

□ 第2章

読解問題..... 252

時制	252	形容詞	280
助動詞	256	副詞	282
受け身	258	代名詞	286
比較	260	総合 (1)	288
接続詞	262	総合 (2)	290
動名詞・不定詞	266	総合 (3)	292
分詞	270	総合 (4)	294
関係詞	272	総合 (5)	296
仮定法	276	総合 (6)	298

Introduction

本書の特徴と使い方

特徴【その1】

文法問題集といえば、通常、単元別になっており、単元ごとに理解を深める設定になっています。すべての単元がシャッフルされた問題はあったとしても、巻末の「総合問題」や「まとめ」など、数ページしかないことも多いでしょう。それでは本当の文法力をつけることは難しく、何を問うかわからない本番の試験の問題や普段の会話、文章に対応しにくいと考えます。

その効率の悪さを避けるべく、本書は「さまざまな単元をとことん解く」教材にするため、単元別にはせず、すべての単元をシャッフルしました。

特徴【その2】

設問に日本語訳などはありません。例えば、英検や、TOEIC はもちろん、センター試験の整序問題には日本語訳がついていません。日本語があると、本来の英文を読む力は試すことができないと考えます。

また、問題は文法に関するもののみで、語彙力や表現力をたずねる問題は扱っていません。問題パターンには工夫を凝らし、だんだんと難易度を上げています。最後の間違いさがしは慣れていないと特に難しいと思います。新 TOEIC TEST では、Part 5 の正誤問題が消えてしまいましたが、英文の間違いを探すことは本当の英文読解力、文法力を試す方法の1つだと考えます。本書の問題は基本的な問題ですので、是非最後まであきらめずに取り組んでみてください。

問題のレベル

問題は1章と2章があります。1章は、【レベル1】と【レベル2】の2つから成ります。それぞれのレベルの目安は次のとおりです。

Level 1 文法範囲	中学～高校入試程度 (英検 4～3 級, TOEIC 270～450 程度)
時制 (1)	現在形, 過去形, 現在進行形, 過去進行形, 未来形, 未来進行形, 現在完了形
いろいろな疑問文	疑問詞総合, 間接疑問文, 付加疑問文
動名詞	
助動詞 (1)	
不定詞 (1)	to 不定詞の用法
比較 (1)	
接続詞 (1)	
分詞 (1)	形容詞的用法
受け身 (1)	
関係詞 (1)	関係代名詞主格・目的格 (which, that, who)

Level 2 文法範囲	高校中程度まで (英検準 2～2 級, TOEIC450～650 程度)
時制 (2)	過去完了形, 過去完了進行形, 未来完了形
助動詞 (2)	助動詞 + have + 過去分詞
不定詞 (2)	原形不定詞の用法
比較 (2)	
接続詞 (2)	
分詞 (2)	
受け身 (2)	
関係詞 (2)	関係代名詞 (what, whose), 関係副詞
時制の一致	
仮定法	
名詞・形容詞・副詞	

【レベル2】は【レベル1】の内容も含んでいます。

また、【レベル1】と【レベル2】の最後にそれぞれ【単元徹底ドリル】を設けています。各問題の解説の最後に、それぞれ文法単元名を記していますので、自分の苦手な文法単元を把握して、【単元徹底ドリル】で練習していただける仕組みになっています。得意な単元も再確認のために、是非このコーナーをご活用ください。

2章は、「読解問題」です。各文法単元をターゲットにした短い文章を作り、その文法に関する設問や、文章全体の内容を把握できているかどうかを試す設問などを作りました。文の素材は、手紙やEメール、社内メモ、広告、物語、対話文、記事などさまざまな種類を使っています。1章で学んだ文法を本当に理解できているか、実践的な英文を読むことによってご確認ください。

【装丁】 Fragment + 柳川貴代

【英文校閲】 Jason May

David Knox

参考文献：

ジーニアス英和辞典（大修館）

OXFORD Student's DICTIONARY OF ENGLISH（Oxford University Press）

英辞郎（アルク）

総合英語 Forest（桐原書店）

現在英文法（数研出版）

First Certificate（ケンブリッジ英検 FCE）（LONGMAN）

English Grammar in Use（Cambridge）

Advanced Grammar in Use（Cambridge）

1 空所補充問題 (4択) ~センテンスレベル

Level

【1】 空所に入る適切なものを選びなさい。

- (1) Mr. Sato () writing a letter now.
(A) is (B) are (C) was (D) were
- (2) This question is () than that one for me.
(A) easy (B) easily (C) easier (D) easiest
- (3) I enjoyed () with some people in English last night.
(A) talk (B) talks (C) talked (D) talking
- (4) () bus goes to Central Park?
(A) Does (B) Is (C) Which (D) How
- (5) I've () Sam James for ten years.
(A) know (B) knew (C) knowing (D) known
- (6) I made a big mistake, so I () apologize.
(A) can (B) should (C) have (D) had

Vocabulary

foreign 「外国の」 / make a mistake 「間違える」 / apologize 「謝る」

■ 解説と正答 ■

- (1) 「佐藤さんは今、手紙を書いています」

あとに writing があるので、《be 動詞＋～ing》で進行形の形にする。now があるので、時制は現在。よって現在進行形の文。〔時制〕

答 (A)

- (2) 「この問題は私にとってあの問題より簡単です」

あとに than 「～よりも」があるので、比較級の文とわかる。比較級は形容詞や副詞に er をつけた形。one は question を指す。〔比較〕

答 (C)

- (3) 「私は昨夜、何人かの人と英語で話して楽しみました」

enjoy は他動詞で、あとに目的語が続くので、名詞相当句（名詞または動名詞〔～ing 形〕）が入る。enjoy ～ing で覚えておこう。〔動名詞〕

答 (D)

- (4) 「どのバスがセントラルパークに行きますか」

Which bus 「どのバス」が主語で、goes が動詞となっている疑問文。主語を明確にしよう。〔疑問文〕

答 (C)

- (5) 「サム・ジェームズと知り合って10年になります」

I've は I have の短縮形。継続を表す現在完了。know などの状態動詞は現在完了進行形にならない。〔時制〕

答 (D)

- (6) 「私は大きな間違いをしたので、謝るべきです」

文法的に入るのは (A) か (B)。意味より「～すべきだ」の should を選ぶ。(C), (D) は have [had] to なら可。apologize の名詞形は apology。〔助動詞〕

答 (B)

☞ 空所補充は前後の語に気をつけよう。

[2] 空所に入る適切なものを選びなさい。

- (1) Kyoto has a lot of places to ().
 (A) visit (B) visits (C) visited (D) visiting
- (2) They didn't go for a walk () it was raining.
 (A) and (B) because (C) but (D) if
- (3) Where () you going last night?
 (A) did (B) do (C) are (D) were
- (4) Is there anyone () wants to work on this issue?
 (A) who (B) when (C) what (D) which
- (5) Do you know the man () with the secretary over there?
 (A) talk (B) talks (C) talking (D) talked
- (6) () about our own country is very important for us.
 (A) Learn (B) Learns (C) Learned (D) Learning

Vocabulary

go for a walk 「散歩に出かける」 / work on ~ 「～に取り組む」 / issue 「問題、課題」 / secretary 「秘書」

■ 解説と正答 ■

- (1) 「京都を訪れるべき場所がたくさんあります」
不定詞の形容詞的用法で、「～するための、～するべき」という意味。
to のあとの動詞はいつも原形になる。〔不定詞〕

答 (A)

- (2) 「雨が降っていたので、彼らは散歩に出かけませんでした」
空所のあとの文が前の文の理由になっているので、「～だから」の意味
を表す because が適切。〔接続詞〕

答 (B)

☞ 空所の前後が節なら、接続詞が入る。

- (3) 「昨夜どこに行くところだったのですか」
going と～ing 形になっているので、進行形であることに気づく。次に、
last night があるので、過去進行形であることがわかる。〔時制〕

答 (D)

- (4) 「だれかこの問題に取り組みたい人はいますか」
あとに動詞が続いているので、空所には関係代名詞の主格が入る。先行
詞が anyone と人なので、which ではなく、who が適切。〔関係詞〕

答 (A)

- (5) 「あそこで秘書と話している男性を知っていますか」
the man who is talking with the secretary と書けるので、talking が入る。
talking 以下が前の名詞 the man を修飾していると考ええる。〔分詞〕

答 (C)

- (6) 「自分の国について学ぶことは私たちにとってとても大切です」
country までが文の主語。動詞を主語にするには、Learning にする。三
人称単数扱いであることも覚えておくこと。〔動名詞〕

答 (D)

[3] 空所に入る適切なものを選びなさい。

- (1) () it's sunny tomorrow, what do you want to do?
 (A) If (B) When (C) Before (D) After
- (2) I'd like () to help me with the cooking.
 (A) you (B) me (C) we (D) us
- (3) Have you ever () to Tokyo Disney Sea?
 (A) go (B) gone (C) be (D) been
- (4) How () does it take to get to the post office from here?
 (A) much (B) long (C) many (D) far
- (5) Do you know () to start the news conference?
 (A) what (B) which (C) when (D) why
- (6) Before () breakfast, I have to walk my dog every morning.
 (A) cook (B) cooks (C) cooked (D) cooking

Vocabulary

help 人 with ~ 「人の~を手伝う」 / news conference 「記者会見」

■ 解説と正答 ■

- (1) 「明日もし晴れたら、あなたは何がしたいですか」
節が2つ続くので、接続詞が入る。意味から、if「もし～なら」が適切。未来のことで現在形で表すことを確認しよう。〔接続詞〕
答 (A)
- (2) 「あなたに料理を手伝ってもらいたいのですが」
would like to ～は「～したい」という意味。toの前に人(目的格)を置いて、「人に～してもらいたい」となる。丁寧な表現。〔不定詞〕
答 (A)
- (3) 「東京ディズニーシーに行ったことはありますか」
haveがあることから現在完了と気づきたい。「～に行ったことがある」と経験を表すときは、have [has] been to ～を使う。〔時制〕
答 (D)
- (4) 「ここから郵便局までどのくらいの時間がかかりますか」
takeは「(時間が)かかる」という意味。それぞれhow muchは値段を、how manyは数を、how farは距離を尋ねるときに使う。〔疑問文〕
答 (B)
- (5) 「あなたはいつ記者会見を始めるべきか知っていますか」
when to ～で「いつ～する(べき)か」という意味。what to ～「何を～する(べき)か」も覚えておこう。〔不定詞〕
答 (C)
- (6) 「私は毎朝、朝食を作る前に犬を散歩させなければなりません」
beforeには前置詞と接続詞があり、ここでは、beforeのあとに節が続いていないので前置詞。よって、あとの動詞は～ing形にする。〔動名詞〕
答 (D)
- ☞ before [after] には前置詞と接続詞の使い方がある。

[61] 対話文が成立するように、空所に 1 語を入れなさい。

(1) A: Have you done your homework, Tom?

B: I'm () finished. I just need a few more minutes.

(2) A: Oh, I seem to be lost. Where am I?

B: You shouldn't () turned left at the traffic light.

(3) A: I told you () tidy your room this morning, didn't I?

B: Sorry, mom. I'll do it now.

(4) A: Why don't you go to the party?

B: As you say, I should () more outgoing.

(5) A: Are you ready to go to lunch?

B: Actually, I'll meet you later. I have a () things to do first.

Vocabulary

tidy 「片づける」 / outgoing 「社交的な」

■ 解説と正答 ■

- (1) 「もう宿題はすんだの、トム?」「ほとんど終わってる。あと2、3分必要なだけだ」

「あと2、3分必要」と言っていることから、まだ全部は終わっていないことがわかる。〔副詞〕

答 almost〔nearly〕

- (2) 「ああ、道に迷ったみたいだ。ここはどこだ?」「信号で左に曲がるべきでなかったのよ」

「～するべきだった(のにしなかった)」は《should + have + 過去分詞》で表す。〔助動詞〕

答 have

☞ 「～するべきだった(のにしなかった)」は《should + have + 過去分詞》。

- (3) 「今朝部屋を片づけるように言ったわよね」「ごめん、ママ。今やるよ」
tell *person* to do で「人に～するように言う」という意味。〔不定詞〕

答 to

- (4) 「パーティに行ってはとうですか」「きみの言うようにぼくはもっと社会的でなければね」

この as は接続詞「～ように」を表す。〔接続詞〕

答 be

- (5) 「食事行ける?」「うーん、あとで行くよ。先にすることが少しあるんだ」

a () things で1つの固まり。things が複数形なので「少しの」を表す few が入る。可算名詞なので little は不可。〔形容詞〕

答 few

[62] 対話文が成立するように、空所に1語を入れなさい。

(1) A: Lisa, time to go home.

B: OK. By the time we get back home, () be dark.

(2) A: Did you fail the exam again?

B: I find () hard to pass exams.

(3) A: I'm going to Kobe next weekend.

B: Are you? It's the city in () I was born.

(4) A: Can I borrow this DVD?

B: Sure. You can take as () DVDs and CDs from here as you want.

(5) A: You could stay here instead of going home so late.

B: It's very kind of you () think of me.

Vocabulary

fail 「落ちる」 / instead of ~ 「~の代わりに」

■ 解説と正答 ■

- (1) 「リサ、帰る時間だよ」「ええ。家に帰る頃には暗くなっているわね」
by the time ～は「～の頃までには」という意味。未来のことなので will を使う。〔時制〕

答 it'll

- (2) 「また試験に落ちたの?」「試験に受かるのは難しいとわかったよ」
形式目的語の it。この it は to 以下の内容を指す。I found (that) it was hard to pass the exam. と書くこともできる。〔代名詞〕

答 it

- (3) 「来週末神戸に行くのよ」「ほんと? 私が生まれた町よ」
in があることに注意しよう。I was born in the city. と考えて、先行詞が the city の関係代名詞 which が入る。in がなければ関係副詞 where が入るので確認しておこう。〔関係詞〕

答 which

- (4) 「このDVD借りてもいい?」「いいよ、ここにあるDVDとCDは好きなだけ持って行っていいよ」
《as + many + 名詞 + as ～》は「～と同じくらい(たくさん)の...」という意味。名詞が不可算名詞だと much になる。〔比較〕

答 many

☞ 《as many + 名詞 + as you want》= 「好きなだけ(たくさん)の～」

- (5) 「もう遅いからここに泊まっていけばいいよ」「お気遣いありがとうございます」
It is kind of you to ～で「～してくれるなんて親切ですね」という意味。〔不定詞〕

答 to

[63] 対話文が成立するように、空所に 1 語を入れなさい。

(1) A: Do you still feel uncomfortable?

B: No, I feel much () now.

(2) A: Which would you like, tea () juice?

B: Neither, thanks. I'm not thirsty now.

(3) A: () did the interview go?

B: I was too nervous. I don't think I'll get the job.

(4) A: Peter was late again!

B: I thought he () be late today as well.

(5) A: Look at that car.

B: That's the car () engine blew up.

Vocabulary

uncomfortable 「居心地が悪い」 / thirsty 「のどが渴いた」 / as well 「～もまた」
 / blow up 「爆発する」

■ 解説と正答 ■

- (1) 「まだ落ち着きませんか?」「いいえ、ずいぶんよくなりました」
過去と比較して「よい」と言うときは、goodの比較級 better を使う。
much は比較級の前に置いて意味を強調する。〔比較〕

答 better

- (2) 「お茶か、ジュースをいかがですか」「どちらも結構です。今はのどが
渴いていません」

Neither = 「どちらもいない」と答えているので、tea か juice かどち
らがよいか尋ねている。接続詞の or が適切。〔接続詞〕

答 or

☞ either は「どちらか～」、neither は「どちらも～ない」。

- (3) 「面接はどうだった?」「緊張しすぎたよ。採用されないと思うな」
《How did + 主語 + go?》は状況を尋ねる表現。〔疑問文〕

答 How

- (4) 「ピーターがまた遅刻よ!」「今日も彼は遅れると思ったよ」
動詞が thought と過去形なので、時制の一致で that 節内も過去形になる。
過去の時点から見た未来のことなので would になる。〔時制〕

答 would [might, could]

- (5) 「あの車見て」「あれがエンジンが爆発した車だな」
エンジンは車のものなので the car's engine という関係が成り立つ。所
有格の関係代名詞の意味を表すには whose を使う。〔関係詞〕

答 whose

[64] 対話文が成立するように、空所に1語を入れなさい。

(1) A: Long time no see.

B: It seems () a long time since we last met.

(2) A: How () you don't say anything?

B: I have a headache.

(3) A: Would you () helping me with this work?

B: Of course not. I'll be there soon.

(4) A: Is Mary going to the concert with you?

B: Well, I'm not sure () she'll come or not.

(5) A: This food doesn't have any flavor, does it?

B: Yeah. It really is the () food I've ever eaten!

Vocabulary

how come 「なぜ」 / flavor 「味」

■ 解説と正答 ■

- (1) 「久しぶりね」「最後に会ってからずいぶん長いよね」

such は形容詞で「そのような～」という意味。あとに可算名詞が続く場合は《such a + 名詞》の語順なので注意。like を入れてもよい。〔形容詞〕

答 such

- (2) 「どうして黙ってるの?」「頭が痛いんです」

How come ~? は理由を尋ねる表現。〔疑問文〕

答 come

- (3) 「この仕事を手伝っていただけませんかしら」「いいよ。今行くね」

Would [Do] you mind ~ing は、丁寧な依頼の文。〔接続詞〕

答 mind

- (4) 「メアリーは君と一緒にコンサートに行くのかい?」「うーん、彼女が来るかどうかはわからないんだ」

「~かどうか」という意味の接続詞は if と whether があるが、うしろに or not がある場合は whether を使う。〔接続詞〕

答 whether

- (5) 「この食べ物、味気ないわね」「ああ、今まで食べたものでいちばんまずいよ」

「おいしくない」という意見に同意しているので、「まずい」bad の最上級 worst が適切。〔比較〕

答 worst

☞ bad の比較級は worse, 最上級は worst。

[65] 対話文が成立するように、空所に1語を入れなさい。

(1) A: When did Judy join your department?

B: Last month. She's been asked to work late () then.

(2) A: () can I join the membership program?

B: You need to complete and return the enclosed enrollment form.

(3) A: Don't drive so fast () you'll have an accident.

B: OK. I'll be careful.

(4) A: () you press the button, an alarm goes off.

B: Oh, really? I won't touch it.

(5) A: The weather has been good so ().

B: But I think it might change.

Vocabulary

department「部署」／work late「残業する」／membership「会員」／enclosed「同封の」／enrollment form「入会申込書」

■ 解説と正答 ■

- (1) 「ジュディはいつきみの部署に入ったんだい?」「先月よ。彼女はそれ以来ずっと残業をさせられてるわ」

since 「～以来」は完了形と共に用いる。〔副詞〕

答 since

- (2) 「会員プログラムに参加するにはどうしたらいいですか」「同封の入会申込書に記入して送り返してください」

会員になる方法を尋ねているので、How が適切。〔疑問文〕

答 How

- (3) 「そんなにスピードを出さないで。さもないと事故にあうわ」「わかったよ。気をつけるよ」

命令文のあとの or は「さもないと」という意味。〔接続詞〕

答 or

☞ 命令文のあとの or は「さもないと」。

- (4) 「もしそのボタンを押したらアラームが鳴るよ」「えっ、ホント? 触らないよ」

文意から、「もし～なら」の if が適切。〔接続詞〕

答 if

- (5) 「今のところ天気はいいわね」「でも変わるかもしれないよ」

so far は「今までのところ (=until now)」という意味で、継続を表す完了形と共によく用いられる。〔副詞〕

答 far

[66] 対話文が成立するように、空所に 1 語を入れなさい。

(1) A: I think this house is small.

B: Well, now () our children have grown up, shall we move to a bigger house?

(2) A: What are you thinking about?

B: I've been thinking about () you said and I'll take your advice.

(3) A: How would you like your steak?

B: I prefer well-done () rare.

(4) A: You're always taking too much time preparing () go out!

B: Sorry, don't leave without me.

(5) A: If you were me, what () you do?

B: I would tell her that I love her.

Vocabulary

grow up「成長する」／steak「ステーキ」／confess「(秘密などを)打ち明ける」

■ 解説と正答 ■

- (1) 「この家、小さいわ」「ふむ、もう子どもが大きくなったし、もっと大きい家に引っ越そうか」

now (that) ~は「今や~だから」という意味。〔接続詞〕

答 that

- (2) 「何を考えているの?」「きみの言ったことをずっと考えていたんだけど、きみのアドバイスに従うことにするよ」

what は「~すること、もの」という意味の関係代名詞。ここでは、thinking about の目的語になっている。〔関係詞〕

答 what

- (3) 「肉の焼き加減はいかがいたしますか?」「レアよりウェルダンの方が好きです」

prefer A to B で「B より A のほうが好き」という意味。肉の焼き加減を尋ねる文も覚えておくとよい。〔比較〕

答 to

- (4) 「おまえはいつも支度をするのに時間をかけすぎるんだよ!」「ごめんなさい、置いていかないで」

prepare to do で「~する準備をする」という意味。また、take time ~ing で「~するのに時間がかかる」という意味だが、take time to do でもよい。〔不定詞〕

答 to

☞ 「~するのに時間がかかる」は take time to do [doing]。

- (5) 「もしきみがほくならどうする?」「ほくなら彼女に愛を告白するね」

if 節が were と過去形になっているので仮定法過去の文とわかる。文意から、主節は《would + 動詞の原形》を使う。仮定法で尋ねられたら仮定法で答えるので、応答の文も《would + 動詞の原形》になっている。〔仮定法〕

答 would

Teaたいむ 副詞って重要？

副詞は、動詞、形容詞、他の副詞を修飾したり、句や節そして文全体を修飾します。ですから**副詞を含む文からその副詞を抜いても文は成り立ちます**。じゃあ、そんなに重要でない？ いえいえ、副詞は確かに文の飾りになることが多いですが、その1語で意味が逆になることもありますよ。

Q1 Jim drove his new car carefully. の副詞はどれ？ 修飾する語句は？

はい。carefully ですね。carefully は動詞 drove を修飾しています。
では次。

Q2 I arrived there exactly at nine. の副詞はどれ？ 修飾する語句は？

はい。exactly ですね。exactly がなくても文は成り立ちます。これは句 at nine を修飾しています。
どんどんいきましょう。

Q3 Therefore, the streets around the city were crowded. の副詞はどれ？ 修飾する語句は？

前にやりましたね。therefore は接続詞ではなく副詞ですよ。これは文全体を修飾しています。
では、先ほど言った、意味が逆になるとはどういうことでしょうか？

Q4 I always watch movies at home. I () go to the theater. の空所に入る副詞はどれ？

ア nearly イ almost ウ hardly エ seldom

そうですね。エの seldom です。「いつも映画は家で観る」のですから「映画館にはめったに行かない」のですよね。このように、否定の意味が含まれる

副詞は要注意です。では、hardly と答えてしまった人はいますか？ seldom が〈頻度〉を表すのに対して hardly は「ほとんど～ない」で〈程度〉を表します。

例：I hardly understood Mike's English.

ちなみに hardly ever は seldom と同じ意味で使われ、〈頻度〉を表すので注意！
ついでに scarcely (=hardly), rarely (=seldom) も覚えておきましょう。

では、ややこしい副詞である very と much を紹介します。

very は形容詞や他の副詞、形容詞化した現在分詞や過去分詞を修飾します。

例 1：Ben is a very good baseball player. →形容詞 good を修飾

例 2：I worked very hard yesterday. →副詞 hard を修飾

例 3：I'm very surprised at the news. →形容詞化した過去分詞 surprised を修飾

これらの very は much に置き換えられません。

much は（通例疑問文・否定文で）動詞や過去分詞を修飾します。

例 1：I don't like this song much. →don't like を修飾

例 2：Do you look at the moon much? →look at を修飾。これは (very) often と同じ意味です。

例 3：Lisa is much loved by all the staff. →過去分詞 loved を修飾

また、much は形容詞と副詞の比較級・最上級も修飾します。

例：This piano is much older than mine.

much の使い方の注意：○ I don't have much money.

× I have much money.

論理的に述べてきましたが、感覚的に「何かヘン？」と思えるようになれたらシメたものですね。

[67] 英文が成立するように、空所に1語を入れなさい。

- (1) Could you please show me a map if you have ()?
- (2) Oil pollution is now one of the () common causes of death among sea birds.
- (3) () I love animals, I don't have a pet.
- (4) Please fill in the form and send it back as () as you get it.
- (5) Mary will retire soon; please let me know if you find anyone () wants to apply for that position.

Vocabulary

pollution 「汚染」 / cause 「原因」 / fill in ~ 「～に記入する」

■ 解説と正答 ■

- (1) 「もしお持ちなら地図を見せていただけませんか」

すでに出た不特定の可算名詞の繰り返しを避けるときは one を使う。名詞が複数形の場合は ones になる。〔代名詞〕

答 one

☞ 不特定の可算名詞の繰り返しは one [ones] を使う。

- (2) 「石油汚染は海鳥の死の最も一般的な原因の一つです」

《one of the + 形容詞の最上級 + 名詞の複数形》で「最も～なもの（名詞の複数形）の一つ」という意味。common が続いているので most を入れる。〔比較〕

答 most

- (3) 「動物は大好きですが、ペットは飼っていません」

節、カンマ、節なので、空所には接続詞が入る。文意から、逆接の接続詞 although [though] が適切。I love animals, but I don't have a pet. と同じ意味。〔接続詞〕

答 Although [Though]

- (4) 「その用紙を受け取ったらすぐに記入して送り返してください」

as soon as ～は「～するとすぐに」という意味。〔副詞〕

答 soon

- (5) 「メアリーがもうすぐ退職します。そのポジションに応募したい人が見つかったら知らせてください」

先行詞が someone (人) なので関係代名詞の who が適切。〔関係詞〕

答 who

[68] 英文が成立するように、空所に1語を入れなさい。

- (1) If it had not been () your suggestions, my book would have had many mistakes.
- (2) If you take on an assistant, it'll help you () get through the project.
- (3) Jason suggested that I () ask her to write my resume in English.
- (4) John regrets () accepted the client's request.

Vocabulary

take on (= employ) 「雇う」 / get through 「やり遂げる」 / resume 「履歴書」
 / regret 「後悔する」

■ 解説と正答 ■

- (1) 「もしあなたの忠告がなかったら、私の本にはたくさんの間違いがあったことでしょう」

「もし～がなかったなら」と過去のことを言うときは、if it had not been for ～で表す。仮定法過去完了の文。〔仮定法〕

答 for

- (2) 「もしあなたがアシスタントを雇えば、その企画をやり遂げる手助けになるでしょう」

help 人 to do で「人が～するのを助ける」という意味。この to は省略できる。〔不定詞〕

答 to

- (3) 「ジェイソンは彼女に英語の履歴書を書いてもらうのを頼むように私に提案しました」

suggest のような提案や要求、決定を表す語句のあとの that 節内には should が使われる。should が省略されて、主語の形を問わず動詞の原形が続くこともあるので覚えておこう。〔仮定法〕

答 should

👉 《suggest [recommend / advise / propose など] + that + S (+ should) + 動詞の原形》の言い方を覚えよう。

- (4) 「ジョンは顧客の依頼を受けてしまったことを後悔しています」

regret ～ing で「～したことを後悔している」という意味。受け入れたのは後悔している前のことなので完了形が使われている。ただし、動名詞自体に過去の意味があるので、regret accepting ～でも同じ意味になる。〔動名詞〕

答 having

[69] 英文が成立するように、空所に1語を入れなさい。

- (1) I'd like to come, () I can't make it until 5 o'clock.
- (2) You won't be able to catch up with Mr. Hasegawa () fast you work.
- (3) The restaurant we went to last night was quite good. It wasn't expensive ().
- (4) Melissa seems to enjoy taking care of the children () though she pretends not to.

Vocabulary

make it 「都合をつける」 / catch up with ～ 「～に追いつく」 / quite 「とても」
 / pretend to ～ 「～するふりをする」

■ 解説と正答 ■

- (1) 「行きたいのですが、5時までは何ともならないのです」

空所の前後が節なので、空所には接続詞が入る。空所の前後で逆のことを言っているので **but** が適切。〔接続詞〕

答 **but**

- (2) 「あなたがどんなに速く仕事をしても長谷川さんには追いつけないわよ」

however は「どんなに～でも」という譲歩の意味を表す。形容詞や副詞を伴うときは、《**however** + 形容詞 [副詞] + S + V》という語順になることに注意。文頭に来たときは、「しかしながら」の **however** と混乱しないようにしよう。〔関係詞〕

答 **however**

☞ 《**however** + 形容詞 [副詞] + S + V》は「どんなに～でも」という意味。

- (3) 「私たちが昨夜行ったレストランはとてもよかったわ。高くもなかったし」

2文目が1文目の意味を追加した関係なので「～もまた」という意味の語が入る。ただし、否定文なので、**too** ではなく **either** が使われる。〔副詞〕

答 **either**

- (4) 「メリッサはたとえそうでないふりをしているも、その子どもたちの世話をするのを楽しんでいるようです」

文全体の意味を把握する必要もあるが、空所の前後が節でうしろに **though** があるので **even though** 「たとえ～でも」という形に気づきたい。ちなみに **even if** でもよい。また、最後は ... **pretends not to enjoy taking care of the children** が省略されている。〔接続詞〕

答 **even**

【70】 英文が成立するように、空所に1語を入れなさい。

- (1) As () as I can see, the accident was Mark's fault, not yours.
- (2) Putting unstamped envelopes in the regular mail is () longer acceptable.
- (3) It () be Peter at the door. He's still on holiday in New Zealand.
- (4) My first car, () I bought when I was a college student, was brand-new.
- (5) We have plenty of insurance, but we don't know how () more coverage we need.

Vocabulary

fault 「責任、過ち」 / brand-new 「新品の」 / plenty of ～ 「たくさん」 / coverage 「(保険の) 担保範囲」

■ 解説と正答 ■

- (1) 「私が見る限り、その事故はマークのせいよ。あなたじゃないわ」
as far as ~は「～である限り」という意味。期間の意味を含む as long as と区別をしたい。〔副詞〕

答 far

- (2) 「通常の郵便物に切手の貼っていない封筒を入れることは、もう受け入れられません」

空所のあとが形容詞（比較級）であることと、文意から、「受け入れられない」という意味が適切なので、否定の意味を含む副詞が入ることがわかる。no longer で「もう～ない」という意味。〔副詞〕

答 no

- (3) 「今来たのはピーターのはずがないよ。彼はまだニュージーランドで休暇中だよ」

2文目から、ピーターではないと言いたいということがわかる。「～のはずがない」の can't を使う。〔助動詞〕

答 can't [cannot]

- (4) 「初めの車は、ほくが大学生のときに買ったんだけど、新車だったよ」

I bought my first car が成り立つので先行詞 my first car を目的語とした関係代名詞の which が入る。節がカンマでくくられている関係代名詞の継続用法では、that は使えない。〔関係詞〕

答 which

☞ 関係代名詞の継続用法では、that は使えない。

- (5) 「私たちはたくさんの保険にかかっていますが、これ以上のくらしい担保範囲が必要わかりません」

後半の文は間接疑問文。空所が how と more coverage には含まれていることがポイント。「どのくらしいの担保範囲」という意味が適切。coverage は不可算名詞なので、many ではなく much が入る。〔副詞〕

答 much